

大規模な水害が猛威を振るっている

整備された水路では排水が間に合わず、道は冠水し、川は決壊する。

しかし大きな被害を受けていない仙台の街ではその問題はどこか他人事のように映る。

本提案では、集合住宅で水害問題を考える。

いつもは気にも留めない雨や水が溜まり決壊して雨漏りし、1日1日時間をかけて消えていくことで

私たちは地球を取り巻く水を見つけていく。



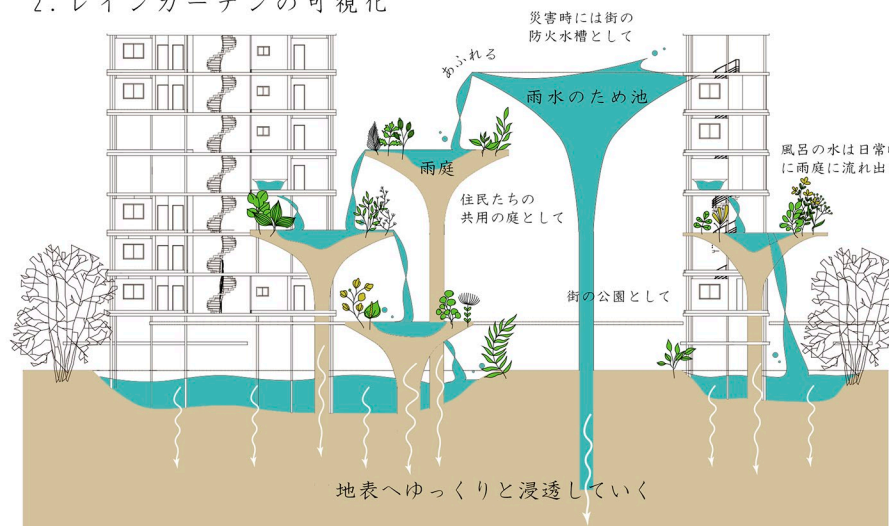
雨守り ~保水し、地表に浸透する集合住宅~

1. 対象敷地

仙台市の定禅寺通りは、戦後に植樹されたケヤキ並木が象徴的な通りである。県民会館、市民会館、メディアテーク、文化活動の拠点として賑わいを見せているが、市民会館及び県民会館の移転、仙台駅前の開発に伴い、年々賑わいを失いつつある。



2. レインガーデンの可視化



3. 集合住宅から都市の隙間へ拡張する雨庭

